

能登半島地震で職員を派遣



1月26日の出発式の様子

1月26日から30日にかけて能登半島地震による罹災証明書発行に係る住家被害認定調査を行うため石川県の能登町へ職員2人を派遣しました。出発式では市長から激励の言葉が述べられ、派遣先へ向かう職員は「竜巻被害の際は多くの支援をいただいた。今回はその恩返しをしたい」と早期復旧への思いを話しました。

伊吹山植生復元に向けて協定締結



伊吹山植生復元プロジェクトの連携協力に関する協定書締結式

1月30日、シールやラベル等の製造・販売を行う大阪シーリング印刷(株)と伊吹山植生復元プロジェクトの連携協力に関する協定を締結しました。

これにより、植生保護やプロジェクトの情報発信、PRに関することなどで連携していきます。

また、併せてプロジェクトのロゴステッカー1万4千枚を寄贈いただき、今後、情報発信等に活用します。

伊吹山再生へ猟友会と意見交換



1月21日、ニホンジカによる伊吹山の食害対策について、市と県猟友会米原支部7人が意見交換を行いました。猟友会メンバーからは、経験に基づく具体的な意見や提案が述べられ、今後も市長は、猟友会の皆さんとともに効果的なシカ対策を行い、伊吹山の植生を回復させたいと話しました。

気象防災ワークショップを実施

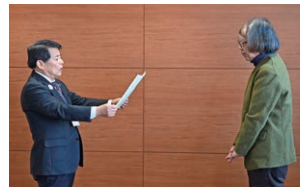


1月22日、彦根地方気象台協力のもと、職員向けに気象防災ワークショップを実施しました。示された気象情報から避難指示のタイミングを考え、課題を話し合いました。

都市計画行政への貢献に感謝状贈呈



平成17年から都市計画審議会会長として、長年にわたり尽力いただいた同志社大学の井口貢教授が任期満了に伴い退任され、1月29日、感謝状を贈呈しました。



井口教授は、都市計画区域の再編など、市の都市計画の礎を築く、多大な貢献をいただきました。

市長コラム 市政言

1月16日、松本剛明総務大臣に令和5年度特別交付税に対する要望を行うため、上野賢一郎衆議院議員とともに総務省を訪問しました。特別交付税は、災害等に関する経費など、地方自治体の特殊な財政事情を考慮して国から交付されるものです。

今回の要望活動では、伊吹山で増えすぎたシカの食害による裸地化が進み、昨年7月の集中豪雨で登山道が崩壊した危機的状况をお伝えし、自然環境の復元に向けた取り組みや地球温暖化対策の必要性を訴えました。また、除雪対策では、積雪が少ない年でも雪の備えに対して多額の経費を要していることや、人口減少に立ち向かうための子育て・若者支援に必要な財政実情を説明いたしました。

松本大臣は、私の話をしっかりと聴いていただき、伊吹山再生をはじめ、本市の特殊事情に理解を示していただきました。

今後も、持続可能なまちづくりを進めるため、積極的な要望活動を行ってまいります。

米原市長 車尾道雄

